

府内市町村の動き



寝屋川市

- 寝屋川市は、「元気アップ介護予防ポイント事業」を開始した。

これは、市内在住の高齢者の介護予防を目的に、市内の高齢者・障がい者施設で簡単な活動を行い、その実績に応じ交付金を交付するもの。

活動の際の注意事項等の研修を受けると、サポーターとして登録され、サポーター手帳が配布される。市が指定する施設で1日1時間以上の活動に従事すると手帳にスタンプが1つ押される。このスタンプ1つが200円となり、年間1万円を上限に交付金が金融機関の口座に振り込まれる仕組み。

ただし、介護保険料を滞納していると交付されない。



箕面市

- 箕面市は、原付自転車等のナンバープレートのオリジナルデザインを導入する。

これは、箕面大滝や紅葉の名所などの観光資源が豊富な同市を全国にアピールするために作成するものであり、この導入は府内初の取組。

デザインは一般公募し、山を背景に瀧と紅葉を組み合わせた箕面の魅力ある自然を生かした作品に決定した。

オリジナルナンバープレートは、平成22年度か



ら交付する予定。

市ではこの取組を通じ、「動く広告塔」として箕面の魅力を多くの人に発信していきたい考え。



柏原市

- 柏原市は、1月から郵便局で住民票などの証明書の発行を開始した。

市役所と郵便局を専用回線で結び、各種証明書の請求の受付と発行業務を郵便局の窓口が代行する。郵便局で各種証明書を受け取ることができるのは府内初。

受け取れる証明書は、住民票の写し、戸籍・除籍謄抄本、戸籍の附票の写し、印鑑証明書、外国人登録原票の記載事項証明など。

同市では、市役所以外に5ヶ所の出張所等でも発行しているが、郵便局で発行することにより市民のほとんどが徒歩10分以内でこれらの証明書を受け取ることができるようになる。

市ではこの取組を通じ、より身近な市民サービスを充実させていく考え。



交野市

- 交野市は、地域ポータルサイト「織姫ねっと」を開設した。

これは、地域振興の一環として、同市の行政情報や商店街・店舗の紹介、観光情報をインターネット上で簡単に検索できるもの。

今後、市民からの告知やイベントの開催、地域の様々な話題を掲載し、地域密着型の運営を行っていく。

市ではこの取組を通じ、このサイトから検索するだけで交野市の全てがわかるようにしていきたい考え。

全国の市町村の動き

栃木県宇都宮市

- 宇都宮市は宇都宮商工会議所の協力を得て、アンテナショップ「宮カフェ」を開店した。

これは、宇都宮ブランド戦略の一環で、中心市街地の商店街の空き店舗を利用し、同市中心部の活性化や地域産業の振興等を目的に地域のにぎわいを創出するもの。

自治体の設置するアンテナショップは東京に開設されることが多いが、観光客向けだけでなく、地域住民もターゲットに出店したもの。1階は地元農産物や土産品の販売し、2階では地元物産を使ったビュッフェレストランとなっている。

市ではこの取組を通じ、観光客だけでなく、地元住民に「宇都宮のよさ」を再発見してもらいたい考え。

石川県金沢市

- 金沢市立病院は、人間ドックの受診結果のデータの提供を実施している。

これは、電子カルテの導入により、データがCD-Rに収録できるようになったことから、心電図や内視鏡等の画像データも併せて受診者に提供するもの。

これにより、受診者自身が個人情報管理するとともに、他の病院で診療する際に、このデータを渡すことで検査を最初からやり直すことがなくなる。

市ではこの取組を通じ、地域の掛かり付け医との連携強化を進めていきたい考え。

山口県宇部市

- 宇部市は、「うべ弁ミーティング」を開催している。

これは、市長と各種市民団体が地元の食材を使った「地産弁当」を食べながら、協働のまちづくりを実現するための情報共有や意見交換を行うもの。

地産弁当については、地元の産物を主に使用することや、包装紙やパッケージ等を市のPRに寄与するものに工夫することを求め、弁当提供者を公募している。なお、弁当代は参加者の負担。

同市ではこの取組を通じ、地元の良さを再認識してもらおうとともに、市民の声が届く市政を実現していきたい考え。



●うえだのぶ